

立教大学大学院理学研究科大学院生支援制度一覧(2021年度)

*2020年度実績

	名称	応募資格	支給期間	支給額	募集時期	採用人数*
1	日本学生支援機構奨学金(第一種) <貸与奨学金>	正規課程に在籍する学生。ただし、最短修業年限を越えて在籍する者、外国人留学生は出願不可。	最短修業年限	前期課程 月額50,000円、88,000円から選択 後期課程 月額80,000円、122,000円から選択	4月上旬	前期課程 18名 後期課程 2名
2	日本学生支援機構奨学金(第二種) <貸与奨学金>	正規課程に在籍する学生。ただし、最短修業年限を越えて在籍する者、外国人留学生は出願不可。	最短修業年限	5万、8万、10万、13万、15万から選択	4月上旬	前期課程 0名 後期課程 0名
3	大学院給与奨学金	正規課程に在籍する学生。	1年	前期課程 30万円/年 後期課程 40万円/年	新入生 4月上旬 在学生 2月中旬	前期課程 20名 後期課程 10名
4	理学部創立30周年記念奨学金	理学部および理学研究科に在籍する学生。	1年	30万、20万、10万のいずれか	9月中旬	3名
5	理学研究科プロジェクトRA制度	理学研究科博士課程後期課程に在籍する学生。	1年	1,500円/時間、年640時間まで	2月末	15名
6	学会発表奨励金(国内)	正規課程に在籍する学生。	年2回まで	一律10,000円(首都圏、オンライン開催)、 一律30,000円(首都圏以外)	随時	22名
7	学会発表奨励金(海外)	正規課程に在籍する学生。	年1回まで	一律50,000円	随時	0名
8	立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(パッケージ型)」	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。 なお、申請にあたっては「日本学術振興会特別研究員」への申請が義務となるため詳細は募集要項で必ず確認すること。	単年度	1件につき上限50万円	4月上~中旬	8名
9	立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(研究発表支援)」	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。 *学会発表奨励金、理学部創立50周年記念大学院学生海外活動助成金以外の資金との併給・合算使用は不可。	1申請者につき、国内・海外問わず年間2回の募集期間にそれぞれ1件まで。また1発表につき1名のみ。	(国内) 北海道・中国・四国・九州・沖縄:5万円 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県:1万円 その他:3万円 (海外) A地方:10万円 シンガポール、ロス・アンジェルズ、ニューヨーク、サン・フランシスコ、ワシントン、ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ、アブ・ダビ、ジェッダ、クウェイト、リアド、アビジャン B地方:5万円(A地方を除く地域) (オンライン) 1万円	年2回 先着順、予算上限に達した時点で締切	<採択実績> 2019年度 (第1回)全研究科計54名(うち理学研究科29名) (第2回)全研究科計36名(うち理学研究科28名) 2020年度 (第1回)全研究科計1名(うち理学研究科0名) (第2回)全研究科計5名(うち理学研究科2名)
10	立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR) 「大学院学生研究(論文投稿支援)」	正規課程に在籍する学生。休学者は申請不可。	1人あたり1件まで。	1論文あたり15万円以内	随時受付 予算上限に達した時点で締切	全研究科 計1名(うち理学研究科1名)
11	ティーチングアシスタント制度	職種によるため、詳細は下記職種概要表を参照	1年	職種によるため、詳細は下記職種概要表を参照	4月上旬	195名(院生のみの実績、延べ人数)

問い合わせ先:1~3, 6, 7については学生課、4については学生課および学部事務3課、8~10についてはリサーチ・イニシアティブセンター、5, 11については指導教員

職種概要表

区分	従事できる対象者	主な業務内容	給与/コマ	週あたりの勤務時間/コマ
SA	学部学生・ 大学院学生 ※1	資料配付、出欠確認、等の補助業務	23,800円	100分
Junior TA (JTA)	学部学生・ 大学院学生 ※1	SA業務の他、実験・実習補助、ピアティーチング、初年次学生への指導補助	39,900円	130分
Middle TA(MTA)	大学院学生 ※1	Junior TA業務の他、学生指導補助、等	51,800円	130分
Senior TA(STA)	大学院学生 後期課程に在籍者 ※2	Middle TA業務の他、課題添削補助、試験・レポートの採点補助、授業運営補助、等	75,600円	160分

※1 特別外国人学生、研究生、研修生、及び法務研究生を含む。
※2 研究生を含む。